

LIXIL

ブラケット LPK-38型

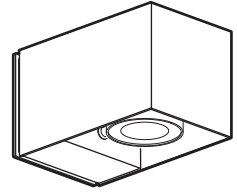
取付説明書

保管用

LH8VLF32SC-T3A1

お客様へ

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。
この説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に
依頼してください。



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下記は図記号の一例です。）

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。

警告	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●異常を感じた場合、速やかに電源を切る 異常状態が収まったことを確認し、販売店、工事店にご相談ください。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●器具を改造したり、部品交換をしない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●照明器具には耐用年限があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。 ◎1年に1回は「安全チェックシート」(4ページ)に基づき自主点検してください。 点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災、感電、落下などに至る場合があります。 ●お手入れの際は、電源を切る 通電状態で行うと感電の原因となる場合があります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●LEDを直視しない 目の痛みの原因となることがあります。 ●可動範囲を越えて灯具を無理に動かさない 器具破損の原因となることがあります。 ●可動部の隙間に指を入れない けがの原因となることがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の取り外しは販売店、工事店に依頼する 本体の取り外しには資格が必要です。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	使用環境
AC100V	50/60Hz共用	6.9W	0.13A	屋外用

●LED照明器具の光束維持時間は40,000時間(光束維持率70%)です。

■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。
 ■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

施工説明

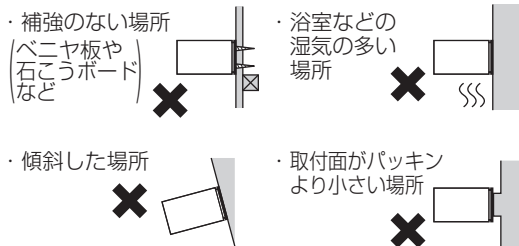
安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない
 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止

◎この器具は壁面取付専用防雨型です。
 (防湿型ではありません。)

●取付面とパッキンのスキマおよび
 パッキン外周部にシール剤を塗る



必ず守る

取付面とパッキンとのスキマを防水シール剤などで埋めてください。防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

◎シール剤が本体裏面の水抜き穴をふさがないようにしてください。守らないと浸水による火災、感電のおそれがあります。

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
 一般の入切用スイッチに交換する



火災のおそれがあります。



必ず守る

◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に
 取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●器具表示の指定方向に取り付ける

指定方向以外に取り付けた場合、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む
 差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●本体が電源線・アース線をかみこんで
 いないことを確認する

電源線・アース線をはさみ込んで器具を取り付けると、火災、感電のおそれがあります。



必ず守る



アース線接続

●接地工事は、電気設備の技術基準に
 従って確実にを行う

接地不完全な場合、感電のおそれがあります。

注意



禁止

●温度の高温なものの上に取り付けない
 火災の原因となることがあります。

◎ガス機器や排気筒の上に取り付けしないでください。



必ず守る

●床面から1.8m以上の高さに取り付ける
 人に当たってけがをするおそれがあります。

●器具の取り付け取り外しは手袋など
 保護具を使用する

けがのおそれがあります。

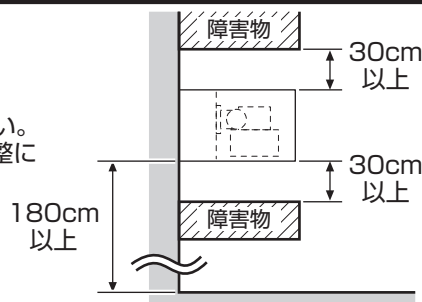
施工前のご確認事項

スイッチについて

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 点灯消灯させたりお手入れの際に電源を切ることができます。
- ほたるスイッチと接続する場合は1回路につきスイッチ3個まででご利用ください。
 (4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)

取付場所について

- 器具の上下は障害物から30cm以上離して取り付けてください。
 器具の取り付け、及び照射角度の調整にスペースが必要です。
- 床面から180cm以上離してください。



各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

●器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

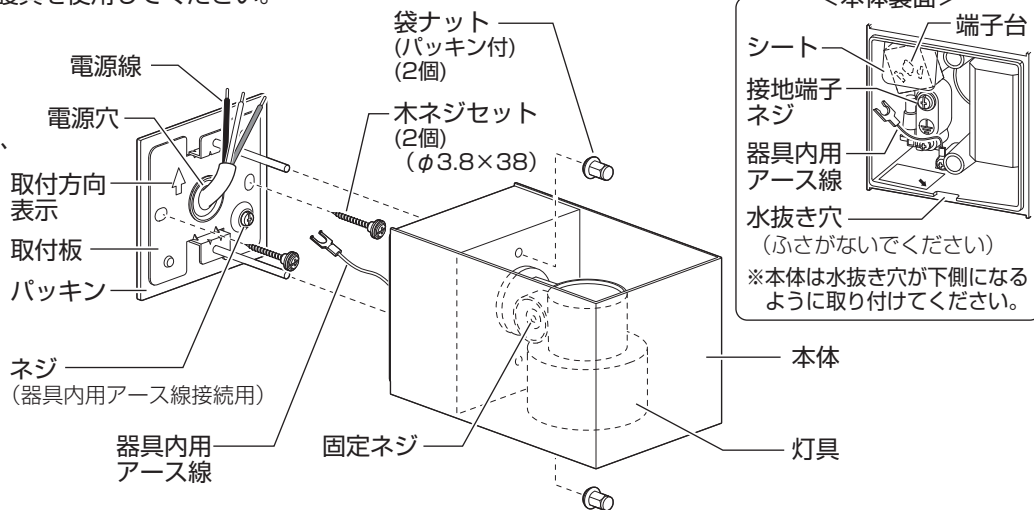
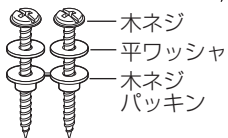
取付前のご準備

- ①袋ナット(パッキン付)(2個)を外し、本体から取付板を取り外す。
- ②ネジ(器具内用アース線接続用)を緩め、器具内用アース線を取り外す。

付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

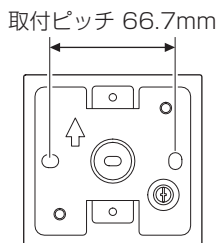
- 木ネジセット(2個)
(木ネジパッキンを切り離して使用してください。)



※本体は水抜き穴が下側になるように取り付けてください。

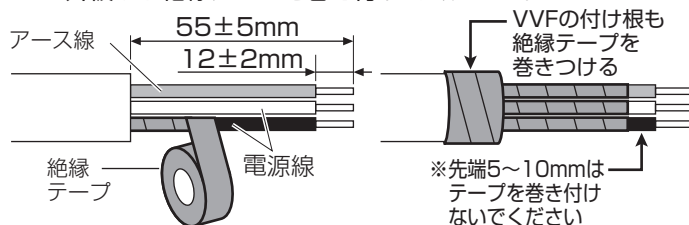
1 付属の木ネジセット(2個)で取付板を取り付ける

- ・木ネジに平ワッシャ・木ネジパッキンが取り付けられていることを確認する。
- ・電源穴に電源線を通し、取付方向表示に従って取付板を取り付ける。



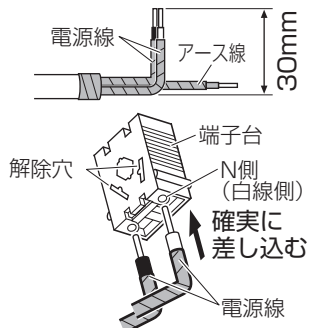
2 電源線を加工する

- ・適合電線 VVFφ1.6、φ2.0単線
- ・VVF外被から絶縁テープを巻き付けてください。



3 端子台に電源線を接続する

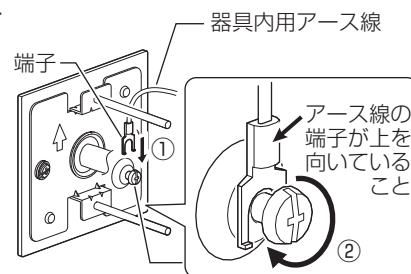
- ①電源線の先端を右図のようにくせ付ける。
- ②接地端子ネジからD種(第3種)接地工事を行う。
- ③端子台に電源線を確実に差し込む。



器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

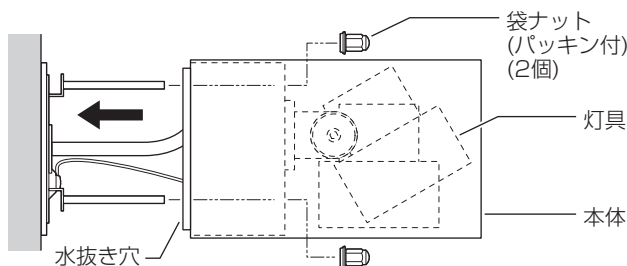
4 器具内用アース線を取付板に接続する

- ①取付板のネジをゆるめて器具内用アース線の端子をはめ込む。
・アース線のかみ込みを防ぐため、取付板の上側から端子をはめ込んでください。
- ②端子を上に向けてネジを締め付ける。



5 本体を取り付ける

- ①壁内に電源線を押し込みながら本体を取付板に押し付ける。
(本体は水抜き穴を下側にしてください。)
- ②袋ナット(パッキン付)(2個)を締め付け、本体を固定する。



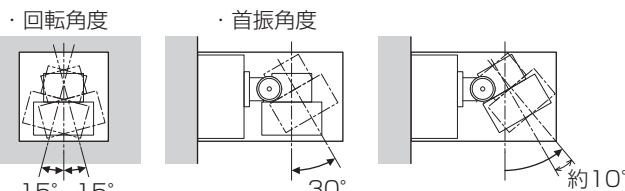
- ・下側の袋ナットを締め付ける際は、灯具を前方に動かしてください。(灯具の可動範囲は手順6参照)

6 照射角度を調整する

- ・六角レンチ^(※1)で固定ネジを緩め、照射方向の首振角度を調整し、六角レンチで固定ネジを締め付ける。



灯具の可動範囲について



- ・首振角度は真下から30°+約10°可動します。首振角度が30°を超えると本体前面で遮光され明るさが低下します。真下から30°の範囲でのご使用を推奨します。



警告



本体が電源線・アース線をかみこんでいないことを確認する

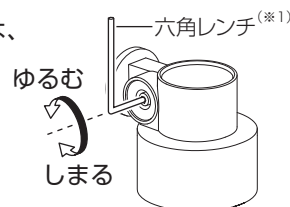
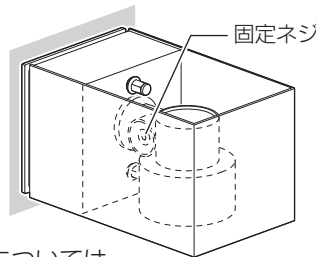
電源線・アース線をはさみ込んで器具を取り付けると、火災、感電のおそれがあります。

お手入れについて

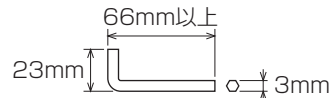
電源を切って、灯具が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

- 灯具の首振角度の可動がゆるくなったときは、六角レンチで固定ネジを締めてください。



※1) 下記サイズのものを別途ご用意ください。



・可動範囲については
前ページ手順**6**参照。

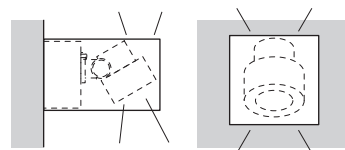
確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません


- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 本体は上下に開放されています。照射方向の反対側にも光が出ますが異常ではありません。



■リサイクル 工具を使用しないで取り外せる部品(カバー、ガラスグローブなど)を分別して各自治体のルールに従って廃棄してください。

● 〈照明器具〉 安全チェックシート ●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

安全点検項目	点検結果 (該当には○)					処置手順
	/	/	/	/	/	
 <p>このような症状はありませんか</p>	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。					○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止の為に、お取り替えをおすすめします。
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。					
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。					
	4. こげくさい臭いがする。					
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。					
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。					
	1. 購入後、10年以上経過している。					○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
	2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。	—	—	—	—	
	3. カバーなどに変色・変形がある。					
	4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。					
	5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。					

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。

取説コード

Z609

201804A_1009
202412B_1009